

東白川村 美しい村づくり 委員会

第 71 回

- 場 所：神土交流サロン（ふれあいサロン）
- 時 期：令和 5 年 3 月 20 日 19：00～21：00
- 参加者：委員 3 名 一般 5 名 行政担当 2 名

【今年度委員会の目的】

①住民参加の場 ②交流・対話の場 ③学びの場

「持続可能な美しい村」を実現するため、「住民と行政で共に学ぶ」をテーマに、「学びの場」と「対話の場」を設け活動しています。

第 1 村長あいさつ

愛知県の平野部では桜が咲いていましたが、東白川村でも春の訪れを感じます。まもなく訪れる 4 月から令和 5 年度がスタートします。それに伴い、村の新しい組織である集落支援機構が発足します。この集落支援機構の業務内容は、この委員会の活動である「官民協働のむらづくり」「美しい村づくり」や、移住定住、集落営農支援、自治会支援、空き家対策となっています。

本日の委員会では、来年度から新たに取り組む、東白川村の暮らし体験イベントの実施内容とスケジュールを具体的に決めていきましょう。

第 2 話し合い会 ～東白川村暮らしの体験イベント～

今回で美しい村づくり委員会は、6 年間、自主参加を大切に交流の場、対話の場、学びの場、やってみる場、にチャレンジしてきました。コロナ禍も含む 6 年間には、成長、停滞、縮小を経験し、次のフェーズへのつなぎとして、前年度から「学びの場」を 6 回開催してきました。そして、新しい参加者の方とも楽しく変化することを目指し、これからの住民主体の

地域づくりについて、官民協働の活動について話し合いを行いました。

話し合いの結果、令和5年度から新しく取り組む企画として、「東白川村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベント」を令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標に決まりました。今回は、2年間のスケジュールについて話し合いました。

〈2年間の体験イベント〉

令和5年度					
朴葉寿司	鮎の友釣り	母樹林 ウォーキング	しめ縄	味噌づくり	林業

令和6年度					
野草 山菜	茶	紅葉 ウォーキング	発酵食 柿渋・柿酢 つけもの どぶろく	こんにゃく	林業

第3 わたしの近況報告

- ・村の美しい風景を絵にしたことがきっかけで棚田の作業を始ました。
- ・クレイシ棚田のお米はとても美味しかったです。
- ・循環型農地は、里山暮らしや自給自足などの生き方の受け皿になります。その農地を維持し次世代につなぎたい！
- ・東白川村の古民家を購入できそうです。夏はリフォーム作業になりそう。
- ・高齢のため、農作業ができない状況です。お茶の在庫も半分ぐらいあります。なので、茶農地を託す人を探しています。
- ・村の農地を維持するためには、地域の農業サポートだけでは難しいです。全体的（多面的な）なサポート組織が必要です。
- ・村の高校生、大学生の夏休みや冬休み時のバイト先が必要！

どこかありませんか？

- ・新しい中学校の部活を作りたいです。(デジタルアート系)
- ・クレイシ棚田は畦きり作業が終わりました。棚田での農作業はとても充実しています。生き物もたくさんいます。田植えは6月第3週あたりの予定です。みなさん是非、参加お待ちしております。
- ・羊やヤギを飼うために1級の資格を勉強中です。(2級はとりました。)

第4 閉会 (20:50)

【次回】 「話し合い会」 テーマ：暮らしの体験「朴葉寿司づくり」
「私の近況報告」

日程：4月25日(火) 19時~21時

場所：神土交流サロン

東白川村暮らしの体験会(仮称)：目的・キャッチコピー



